

ちば経済

東京株式市場の日経平均株価が10日、一時2万円を回復したことについて、県内の有識者や個人投資家からさまざまな見方が出た。(本文1面)

株価2万円受け県内

ちば証券の伊東正社 捉えた。
長は「景気や企業収益の回復を想定すると当然の結果。欧米の最高値を考慮すれば単なる通過点だ」との認識を示す。その上で「資産効果が高額消費を引き出し、景気回復のけん引役の一つになる」と株高のメリットを挙げ、「心理面でも、経済面でも大きなプラス効果をもたらす」と好意的に

今後については、好業績が続き企業収益の経常増益率が2桁となることなどを予想した上で、株価が「一年おかしくない」と見通した。干葉経済大学経済学科の藤生裕教授は「貿易赤字がかなり縮小し、輸出部門が復活してきていることに市場が好感的では」と要



日経平均株価が一時2万円を超えたことを示す電光掲示板
10日午前、東京・日本橋本町

MRJ初飛行
9〜10月に延期
開発計画見直し
三菱航空機(愛知県豊山)

「単なる通過点」証券会社 個人投資家「実体伴わず」

因を分析。引き続き民間企業に力が付いてくれれば、業の伸びには期待できるものの、海外投資家にとって政府の財政赤字が懸念材料として、「プラスのトレン드가続くには民間の頑張りに加えて、政府の財政赤字解決も必要」と指摘した。

干葉市内の証券会社を訪れた個人投資家の男性(77)は「これから本当に日本企業に力が付いてくれれば、業に上値を張るだろうが、25銘柄以外にも全般的に上がっていくか注視したい」と、株高の広がりに期待。別の投資家男性(61)は「このまま良くなることを期待するが、実体が伴っていない気もする。リーマン・ショックを経験している



る試験を検証した結果、MRJで4計画延期に注の獲得に「ばさない」

森本浩通社長(三菱重工)は愛知県

地域の中核企業支

千葉銀、新ファンド

千葉銀行は10日、地域の成長支援を目的に同日設立された「地域中核企業活性化ファンド」へ出資すると発表した。

ファンドは、地域経済活性化支援機構とエスネットワークスの合弁会社、REVICパートナーズが運営。常陽・横浜・静岡といった地銀やメガバンク、保険会社などが計240億円(上限300億円)を出資

アップルウォッチ

試着

米アップルは10日、腕時計型端末「アップルウォッチ」の購入予約の受け付けを始めた。24日の発売を前に、ソフトバンク表参道(東京都渋谷区)には、熱心なファンが並ぶ様子が見られた。